

## パートナーシップ制度の意味と背景～自分史から

@第3回流山市男女共同参画審議会

2023年07月14日

「すこたん！」代表 伊藤 悟

### [1] 「自己受容・自己肯定」の難しさ

#### ◇ 10代の伊藤悟

- ・「同性愛」は性的倒錯 / 異常性欲 / 変態性欲 / 病気 / 一過性  
→ 自分は社会から否定的な存在という烙印を押されている
- ・情報もロールモデルもない → 隠して生きて行かざるを得ない
- ・異性愛中心の価値観が支配的  
→ 異性を好きになり、結婚・家族・子育てしてこそ「一人前」

#### ◇ 性に関する「少数派」の苦悩

自分は同性に対して特別な感情を持つ…  
周りからは「女性」と思われ扱われるが、自分は違う…  
恋愛をしたいという気持ちが起こらない…

- 自分をどうとらえたらいいか分からない → 混乱、迷い、メンタルを病む
- ・「多数派」の「思い込み」はとっても強い  
→ 「思い込み」で決め付けないことが「人権感覚」

### [2] 人権問題としての性的マイノリティ

#### ◇ 生存権・生活権が侵害されている

- ・性的マイノリティだから殺される ウガンダでは死刑、日本でも事件あり
- ・日常生活で多数派を装わざるを得ないストレス 自殺率、希死念慮率が高い  
← いじめ・からかい・中傷・暴力・差別 / 家庭や職場にいられない

#### ◇ 「特別扱い」「特権」ではなく「平等」を求めている

- ・差別解消、婚姻、相続、養子、就労、住まい、医療、福祉、税、生活様式…  
→ 「結婚の自由をすべての人に」裁判

「日本国憲法」から

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。(後略)

第14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

### [3] パートナーシップ制度の必要性

◇関係性が公的に証明されることだけでも存在意義がある

- ・今まで誰にも「承認」されて来なかった
  - 「パートナーです」と言ったとき、信じてもらうしかない
- ・マイノリティは「存在」すら否定されがち
  - 「会ったことないから、身近にいると思えない」
  - ←「あえて言わない/隠す」ではなく「言えない/隠さざるを得ない」のに
- ・「存在証明」「関係承認」が得られるだけで安心できる
- ・性的マイノリティの「可視化」→社会全体の意識改革へつながる

◇生活上の平等への第一歩

#### 《千葉市パートナーシップ宣誓をした経緯 [伊藤の例]》

パートナーの築瀬が急病（9年前）→救急病院へ

伊藤は「親族ではないから」と診察室等には入れず、病状説明もできず放置

築瀬は「伊藤と言葉も交わせずこのまま亡くなったらどうしよう」

←このこと以外にも男ふたりでは賃貸マンションを借りられない等の不自由

千葉市へ転居して2019年1月に「パートナーシップ宣誓」

初めてふたり同居として賃貸マンションを借りられる

千葉市以外でも、宣誓証明カードを見せることで扱いが変わった

- ・医療 診察に同席、病状説明を受けられる、手術等の同意
- ・住居 賃貸で断られない
- ・カミングアウト
  - パートナーの関係性、ひいては自分のセクシュアリティを話しやすくなる

◇「啓発」が不可欠

- ・病院・診療所、薬局、不動産屋、大家、公的機関、学校…に対する啓発
  - パートナーシップ制度の内実を創り出す
- ・市がリードして、多彩な活動を展開する
  - 講演・研修・ワークショップ…

## [資料：1] セクシュアリティこれだけ

### ▼セクシュアリティをとらえるための基本用語 [SOGI]

性自認(gender identity): 自分の性別を何だと思うか

性的指向(sexual orientation): 性的な魅力を感じる性別は何か

### ▼性のあり方における多数派 (シスジェンダー+ヘテロセクシュアル)

- ① 自分を女性または男性だと思い、それが出生時に割り当てられた性別と同じ
- ② 異性に性的な魅力を感じ、恋愛感情を持つ

→ これにあてはまらない場合、(現在は) 少数派/マイノリティとされる

	性自認	性的指向
レズビアン	女性	女性
ゲイ	男性	男性
バイセクシュアル	個人による	女性と男性
トランスジェンダー	出生時の性別と異なる	個人による



### ▼LGBTQ→ 性的マイノリティの「有名」カテゴリーの頭文字 (≠ 総称)

◇アセクシュアル: 他者に性的に魅力を感じない人

◇Xジェンダー: 性自認が男・女ではない人 (両性、中性、無性、不定など多様)

◇パンセクシュアル: 性的に魅力を感じる際、相手の性別が条件にならない人

★「Q」は「クイア」(性的少数者の総称) または「クエスチョニング」(未確定)

★「性同一性障害」: 医学的な言葉 → 「性別違和」「性別不合」へ  
人により好む呼び方が変わる

## [資料：2] 参考になるアイテム・相談ができる団体

### 書籍・DVD

#### ◇一般解説書

- ・松岡宗嗣 2021 (柏書房) 『あいつゲイだって～アウティングはなぜ問題なのか?』
- ・石田仁 2019 (ナツメ社) 『はじめて学ぶ LGBT 基礎からトレンドまで』
- ・神谷悠一、松岡宗嗣 2020 (集英社新書) 『LGBT とハラスメント』
- ・ジェローム・ポーレン、北丸雄二＝翻訳 2019 (サウザンブックス社) 『LGBT ヒストリーブック』
- ・遠藤まめた 2016 (合同出版) 『先生と親のための LGBT ガイド：もしあなたがカミングアウトされたなら』
- ・伊藤悟、三宅大二郎他 2017 (緑風出版) 『新同性愛って何?—わかりあうことから共に生きるために～プロブレム Q&A』
- ・伊藤悟、虎井まさ衛 2002 (高文研) 『多様な「性」がわかる本～性同一性障害・ゲイ・レズビアン』

#### ◇当事者の体験談

- ・石川大我 2009 (講談社) 『ボクの彼氏はどこにいる?』
- ・砂川秀樹 編著、RYOJI 編 2007 (太郎次郎社エディタス) 『カミングアウトレターズ』
- ・遠藤まめた 2018 (はるか書房) 『オレは絶対にワタシじゃない』

#### ◇DVD

- ・「[すこたん!](#)」2022 購入は「[すこたん!](#)」から直接に  
[すこたん創設者をモデルに10人のゲイバイ男性の生き様を描く](#)  
脚本・演出 → [詩森ろば](#) [『新聞記者』にて日本アカデミー賞脚本賞]

### 相談ができる団体など

- ・よりそいホットライン (24 時間 / 全国) 0120-279-338
- ・アカー(動くレズビアンとゲイの会 / 東京) 様々な電話相談  
<https://www.occur.or.jp/service/hotline/>
- ・にじーず (東京ほか全国) 性的マイノリティユースの居場所  
<https://24zzz-lgbt.com>
- ・[すこたん!](#) [すこたんソーシャルサービス] (千葉)  
ウェブサイト → <https://sukotan.jp>  
メール → [info@sukotan.jp](mailto:info@sukotan.jp)  
ツイッター → [@sukotan18satoru](#)

▷伊藤悟個人ツイッター → [@satoru\\_hyotan](#)